

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市上倉田地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

上倉田地域ケアプラザでは、2つの地区を担当しています。マンション、UR住宅などの集合住宅が駅周辺に多いため共稼ぎの世帯が多い傾向にあります。両地域とも昔から戸塚の地に住む方々とマンションなどの集合住宅や分譲地に引っ越してきた方が混在しています。上倉田地区については、高齢化率 22.2%と年々上昇傾向にあるため担い手の不足や介護を必要とする世帯が増えてきています。吉田矢部地区については高齢化率 16.3%です。両地区ともに生産年齢人口が比較的多い地域のため高齢者支援のみならず子育て支援のニーズもある地域と考えています。

平成 30 年度については、担当エリア内の地区により、また居住形態により課題が異なるため、連合別、居住形態別などの単位で動くこと、事業を組むことなどを意識して事業等を実施しました。

上倉田地区について、担い手不足などの課題については活動についての広報協力としてケアプラザの掲示板等を使いチラシを掲示、配架等を実施しました。またボランティアポイントの講座の開催を実施しました。

吉田矢部連合地区については、ケアプラザまでの相談が難しい方について、訪問してのご相談対応を実施しました。介護予防についての取り組みについては、地域の町内会館などを使っての講座を実施や、老人会やお食事会といった地域の活動に参加し、地域の中に出向いてアセスメントや介護予防の普及を行いました。またエリア内の大型商業施設が閉店になったことについての影響等については、民生委員との戸別訪問などをしながら把握に努めました。

・子育て支援についての地区別のニーズや課題の把握については、子育て支援者連絡会や自主事業を通じ実施しました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・朝のミーティングでは前日にあった相談の内容を共有しました。
- ・近隣の放課後デイサービスや小規模保育室等の連携や情報収集などを実施しました。
- ・男女共同参画センターや地区センターなどにケアプラザの広報紙等の配架の依頼を行い様々な世代にケアプラザを周知するよう心掛けました。
- ・子育て支援の情報はファイルを整理し来館者が閲覧をしやすくしています。
- ・外国の方からの子育て支援事業等のお問い合わせについては、近隣の拠点等のご案内をしました。

(2) 各事業の連携

- ・地域支援ミーティングを毎月実施しました。ミーティングでは、前月、当月の地域訪問の報告や次月の訪問予定などを確認しながら各地域の状況や今後のアプローチの方法などを話しました。また会議で出たアセスメントの視点については、相談での訪問や広報紙の配布などで地域を移動する際にも意識するようにしました。
- ・各事業の講座後、サロン等への参加後は報告書を作成し回覧をしました。
- ・常勤会議（月1回）、朝のミーティング（毎日）を開催し、情報共有に努めました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・常勤職員1名に、欠員がありました。
- ・常勤職員とは、事業計画に基づいた年間の個人目標を設定し、振り返りを行いました。（6月、12月面接）
- ・研修については、参加した職員は報告書を作成し回覧をすることで参加研修の内容を共有しました。
- ・常勤非常勤問わず全職員を対象に法人全体での対人援助力の基礎力を上げるような研修を実施しました。
- ・毎月1回全事業の常勤職員が集まる会議を実施し各事業で公正・中立を意識した取り組みができるよう情報の共有等を行いました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 顔の見える関係づくりやネットワークの構築のため下記定例会等へ参加しました。
- ・上倉田、吉田矢部地区民生児童委員協議会定例会、上倉田地区連合定例会、吉田矢部地区連合定例会、子育て支援者連絡会、戸塚スポーツセンター運営協議会、倉田コミュニティハウス運営協議会、地域密着型通所介護・認知症デイサービス・グループホーム運営推進委員会など。
 - ・高齢以外の方の相談を通じ生活支援センターや福祉保健活動拠点等との連携も実施しました。

(5) 区行政との協働

- ・地域福祉保健計画については、地域支援チームと連携し担当エリアの地区別計画の推進に向けて一緒に動きました。
- ・地域支援チームの事務局会議に参加し地域情報の共有等を行いました。
- ・子育て支援事業やあつたまり場など区の事業にも参加しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・子育て事業中心に地区別に各種事業のニーズと実態の把握のため地区で実施されている事業に参加しました（赤ちゃん教室など）。また自主事業内でのアンケートを実施し分析することでニーズの把握をしました。
- ・高齢：出先の一つとして気軽に参加できる趣味講座のようなものについては、実施できませんでしたがシニアボランティアポイントの講座を実施しました。
- ・子育て：0歳児～未就学のこどもたちへの講座については、ママ同士の横のつながりが欲しい、子育ての悩みを気軽に相談できる場が欲しい、子どもの成長の糧になる講座に参加したい、ベビーマッサージに興味があるというニーズのもと、年間予定に沿って、5つの子育て事業を企画・実施しました。定員制の講座については、どの講座も定員に達し、キャンセル待ちも出るなど、子育て世代の意識・関心の高さと子育て講座へのニーズの高さを改めて把握することができました。自主事業終了時には自主活動の立ち上げのアナウンスを行い、個別相談にも乗りました。
- ・障がい：精神障がいの方たちのフリースペース「あったまり場」を毎月1回実施しました。参加者の実情やニーズに合わせた運営を行いました。
- ・子育て支援者連絡会の一員として、とつか公園あそび隊の事業の企画、当日の運営を行いました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・空き情報の掲示については、玄関に掲示し随時更新を行います。利用率のさらなる向上にむけて、空き情報の掲示の仕方をより一層分かりやすいものにリニューアルしました。お部屋ごとに色を変える、文字や枠を大きくするなど、より見やすくし、予約状況を一目で把握できるように、検討・改善しました。
- ・空き情報の問い合わせについては、団体登録時・お部屋利用のご相談には丁寧に対応し、比較的取りやすい夜間利用についてご案内しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・広報さくらだよりや区社協ボランティアセンター等へボランティア募集の広報や依頼を行いました。
- ・今年度、数名の新規登録とコーディネートを行いました。デイサービスボランティア、あったまり場ボランティア、子育て支援者へ、1名はボランティアセンターへおつながりました。新たに、ボランティア募集のチラシの作成と掲示・配架も行いました。貸館団体さんからボランティアをしたいという相談をうけ、どんなボランティアが出来るかご提案し、デイサービスへのボランティアにおつながりました。
- ・平成31年3月27日には「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」を行い、新たなるボランティアの拡充を図りました。
- ・平成30年度に登録ボランティアの名簿を更新しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 上倉田地区連合会・吉田矢部地区連合会の定例会に出席し、地域の情報収集を行いました。地域における福祉保健活動団体や人材等の情報を把握し、お問合せや必要な方への情報提供を行いました。
- ・ 情報発信としては、地区連合の定例会に出席してのPR、広報紙の定期発行、ホームページの月次更新、よちよちメールサービスの月一回配信を行いました。広報紙は連合別に作り分け、それぞれの地域に必要な情報の発信を行いました。今年度、広報紙の設置場所をエリア内で11か所増やし、情報発信の強化を図りました。
- ・ 子育て支援者連絡会では、主任児童委員や地域施設の職員と連携して、エリアの白地図を使い、地域の子育て情報・地域資源の取りまとめと把握をしました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ 担当エリアのインフォーマルサービス等に地域包括支援センター職員等と協力しながら参加し地域情報のアセスメントを行いました。
- ・ 生活支援コーディネーター連絡会や研修会に地域包括支援センター職員等と連携し参加しました。
- ・ 地域支援ミーティングに参加し、地域交流事業・地域包括支援センター事業職員と情報共有し連携しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 地域包括支援センターが実施した戸別訪問の地域情報を収集し、世帯状況や生活支援ニーズを整理しました。
- ・ 住民主体の地域活動と生活支援サービスを提供している事業者の状況を更新しました。

(3) 連携・協議の場

- ・ 地域の連携・協議の場については、地区連合内の1自治会をとりあげ地域状況の共有を実施しました。
- ・ 必要な生活支援・介護予防・社会参加にかかる活動の状況やニーズの把握のため、介護予防等の講座を実施しました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 吉田矢部地区と上倉田地区、吉田矢部地区と舞岡地区など生活圏に近いが連合が違うエリアで共通の課題については引き続き検討していきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・顔のみえる関係づくり、連携・協働しやすいネットワーク構築を目的に、今年度も食事会や老人会などインフォーマル活動への訪問、民児協など地域の会議への出席を継続的に行いました。出前講座をツールにした地域包括支援センターの事業周知も継続して取り組んでいます。
- ・地域情報や地域訪問計画については、毎月、所長・包括・地域・生活支援の合同ミーティングで共有・検討しています。

②実態把握

- ・平成30年度は吉田矢部地区を中心に実態把握を行いました。
 - ・まず6月の吉田矢部地区民生委員児童委員協議会の定例会にて『民生委員の感じている高齢者の個別課題・地域課題の傾向』を知るため民生委員の方にアンケートを実施しました。その結果を踏まえ、9月に地区をいくつかに分けそのうちの1エリアで一人暮らし高齢者宅へ戸別訪問（民生委員の方と同行訪問）し、アンケート調査を実施しました。
- アンケートの集計結果及び地域情報については、担当地区の民生委員の方とふり返り・共有しました。引き続き吉田矢部地区で戸別訪問・アンケート調査を実施し地区全体の把握につなげていきます。

③総合相談支援

- ・相談が入った場合、年齢やエリアに関係なく、受け止め、その後必要に応じ適切な機関や制度、事業の紹介等を意識し実施しています。
- 支援を展開する際には、包括だけが関わるのではなく、民生委員をはじめとした地域住民の方や区役所、区社協、介護保険事業所、NPO法人、企業、在宅医療相談室、障害関係事業所、医療機関など、あらゆる機関と連携・協働しチーム支援を実施していくよう心掛けました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・金銭管理等のご相談について成年後見制度や任意後見制度に関する情報を提供しました。
- ・食事会や老人会に出向いた際、適宜消費者被害や振り込め詐欺に関する情報を伝えました。
- ・見守り新鮮情報をケアプラザ内掲示板に定期的に掲示し注意を促しました。
- ・相談内容が法律に関わる場合には、市あんしんセンターの弁護士相談を活用し支援を実施しました。

②高齢者虐待への対応

- ・虐待事例の際には、指針、マニュアルに基づき区役所をはじめとした関係機関と連携を図り、役割分担のうえチーム支援を実施しました。本人の安全を確保するための本人への支援と同時に、養護者への支援として区役所への面接同行等を行い、養護者の生活の再構築に向けた支援も行いました。
- ・介護者のつどいは今年度も毎月（9月のみ工事のため休会）開催しています。要介護者の受入もできるよう、ボランティアの協力を得て体制を整えています。平成29年度に引き続き、男性介護者の参加が多くみられます。
- ・12月に区で開催された民生委員・児童委員全員研修を参考に、高齢者虐待防止について、地区民生委員児童委員協議会の定例会にて情報提供をしました。

③認知症

- ・インフォーマル活動へ訪問した際に認知症に関する話をするなど地域住民向けにも啓発活動を実施しました。
- ・認知症ミニ講座（GHマナーハウス共催事業）を開催しました。
- ・認知症初期集中支援チームとも連携しました。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・作成済みのインフォーマルサービスの情報冊子の再編を行いケアマネジャーへ情報提供しました。
- ・地域住民向けのサロンや食事会、老人会やケアプラザで行った映画上映会に介護保険や介護保険サービス、ケアマネジャーの役割を周知しました。また、担当圏域のマンションのシニア会にて介護保険についての説明会を実施しました。
- ・担当圏域の民生委員とケアマネジャー、ケアプラザ内の地域交流事業等との交流会を開催し、地域課題やニーズを出し合い検討します。基調講演として戸塚区役所より横浜型地域包括ケアシステムについての講座を実施しました。

②医療・介護の連携推進支援

- ・区内区外の30病院の医療従事者とケアマネジャー対象に入退院時の連携についてグループワークを行い情報交換の機会と病院から「病院の連携体制」についての講演会を実施しました。
- ・担当圏域の病院、薬局へ毎月訪問し情報交換を行いました。
- ・戸塚区在宅医療相談室の事例検討会に参加し、戸塚区内の医師による勉強会や事例検討会へ参加し地域の医療と介護の連携推進を実施しました。在宅療養普及啓発講演会の参加と後方支援を行いました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーからの電話及び面談による相談対応を随時行いました。
- ・エリアの居宅介護支援事業所を訪問し情報提供、情報交換を行いました。(毎月)
- ・区内のケアマネジャー対象に介護予防・介護予防従事者研修会を実施しました
- ・新任・就労ケアマネジャー支援とし「新任ケアマネジャーのスキルアップ～先輩ケアマネジャーから新人ケアマネジャーへ伝えたいこと～」をテーマに研修会を実施しました。
- ・ケアマネジメントの質の向上支援としてケアマネジャー対象にインフォーマルサービスの紹介を兼ね、ケアマネサロンとしてケアプラザで実施されている運動系のサークルへの参加事業を企画し実施しケアプランへの設定を促しました
- ・戸塚区ケアマネ連絡会「ケアマネット戸塚」と共催での勉強会の開催や開催準備等後方支援を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・個別ケースへの取り組みとして、エリアの大型スーパーが閉店したことにより主に買い物先や生活の困りごと等の住民課題解決に向けて、地域住民、担当民生委員の協力のもと民生委員の方とともに戸別訪問を実施しました。住民へアンケート調査を集計し、その後民生委員、自治会長等と個別の地域ケア会議を実施し、地域情報の共有や課題を整理し課題解決に向けての検討を行いました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・サービス開始時、定期評価時以外にも、変化があった時は担当者会議を開催し、ケースに関わる事業者間での連携を密に図っています。
- ・介護保険内のサービスだけではなく、ケアマネサロンで実施したインフォーマルサービスに参加して、インフォーマルサービスの紹介・提案をしました。インフォーマルサービスを取り入れたプランを心掛け、御自身が自立を目標と出来るよう取り組みました。
- ・委託ケースでは担当者会議に出席し、事業者との情報共有をしました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

・介護予防普及啓発事業：ケアプラザだけではなく、地域の町内会館を含む4会場で、13講座(ロコモ予防4講座、認知症予防5講座、栄養改善3講座、口腔機能1講座)を開催しました。内容を講話だけではなく体験型にする等工夫し、また、既存の活動グループや食事会、サロンなどで講座を周知したことにより、平均21.3名の参加がありました。

・地域介護予防活動支援：今年度自主化した活動グループへの後方支援を区と協働して行い、参加者も徐々に増え安定した活動を行えています。地域で行っている食事会やサロン、老人会で複数回出前講座を行い、特にオーラルフレイル予防について積極的に普及啓発しました。また、この時には講話だけではなく、活動に取り入れやすい介護予防ゲームや認知症予防運動を体験する機会を提供したことで、体験後に次回の講座依頼に繋げることができました。

5 その他

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・毎月1回建物の維持管理のため、委託業者による定期清掃を行いました。電気設備・ボイラー・館内消毒などは専門業者に委託し点検清掃等を実施しました。
- ・給湯水、浴槽水、冷却塔については、水質調査を実施し、冷却塔については夏場に定期的なレジオネラ菌の管理を実施しました。
- ・床下ピットに水がたまる現象が続いているため、毎月水位を記録しました。
- ・毎日館内・外の清掃を中心とした美化活動を実施しました。
- ・9月～11月については、給水給湯の配管と空調設備の更新のための工事により9月は閉館、10～11月は部分閉館を実施しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・社内メールや回覧を活用し無駄な印刷を省きます。印刷時に両面印刷・裏紙の使用を励行しました。
- ・事務用品、消耗品等の在庫管理の仕組みを整え、常に改良をはかることで無駄な発注をなくしました。

(3) 苦情受付体制について

- ・苦情に迅速に対応できるように相談・苦情に対応する窓口を設け、苦情受付担当者・苦情解決責任者を配置しています。館内には苦情対応の掲示を継続して行いました。
- ・いただいたご意見や対応策については、館内に掲示しました。
- ・介護保険の事業部門の苦情に関しては、神奈川県国民健康保険団体連合会や横浜市介護事業指導課などの連絡先を契約の際に明示しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・機械警備の設置を継続して行いました。
- ・年2回の避難訓練、浸水時の対応訓練を1回実施しました。
- ・日中は来館者に対しての積極的な声かけにより、出入りされる方々とコミュニケーションを心がけました。
- ・防災時の避難経路等については、貸館の際のお渡しするボードにてお伝えするとともに各部屋入口にも掲示しご案内を行いました。

(5) 事故防止への取組について

- ・ひやりはっと事例については、報告書を作成し係長・所長へ報告を行いました。係長は事故へと発展しないよう関係職員に周知徹底し改善を指示しました。
- ・毎月の常勤職員ミーティングにて前月の事故・ひやりはっと等についての周知と、事故予防対策の研修を実施しました。
- ・個人情報漏えいの事故については、全職員で情報を共有し再発防止等についてミーティングを実施しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報漏えいの事故については、全職員で情報を共有し再発防止等についてミーティングを実施しました。
- ・ 個人情報の適正管理等については、年1回研修を実施し、個人情報の適切な取り扱いについて職員全員と誓約を行いました。
- ・ 新人職員や初めて職務に当たる人へは、個人情報取り扱いの心得とマニュアルの説明を実施しました。
- ・ 館内に個人情報保護方針について掲示し、利用者及びその家族の情報保護に努めました。

(7) 情報公開への取組について

- ・ 法人で情報公開規定を制定しています。
- ・ お問い合わせはありましたが、情報公開に繋がる事例はありませんでした。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 法人研修にて全職員に対して人権啓発の研修を実施しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 館内利用者にもご協力いただき、節電・節水を心がけました。
- ・ ごみの量を削減させる意識の向上を図り、生ごみの水きり、回収品目別にごみ箱を設け、事業系ごみの削減に取り組みました。
- ・ 古切手などリサイクル回収の取り組みを行いました。
- ・ 送迎車両、地域訪問車両のエコドライブを実施しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

常勤3名（保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士）
非常勤1名

《目標に対する成果等》

- ・サービス開始時、定期評価時以外にも、変化があった時は担当者会議を開催し、ケースに関わる事業者間での連携を密に図っています。
- ・介護保険内のサービスだけではなく、ケアマネサロンで実施したインフォーマルサービスに参加して、インフォーマルサービスの紹介・提案をしました。インフォーマルサービスを取り入れたプランを心掛け、御自身が自立を目標と出来るよう取り組みました。
- ・委託ケースでは担当者会議に出席し、事業者との情報共有をしました。

《実費負担》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・アセスメントを行い適切なプラン作成をご本人と一緒にいきます。
- ・現在できている家事や生活動作が引き続き継続して行うことが出来るよう自立に向けてプラン作成します。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
164	164	165	166	155	159
10月	11月	12月	1月	2月	3月
159	160	167	164	163	167

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤 1 名
非常勤 1 名

《目標に対する成果等》

介護保険サービス、地域の福祉サービス、医療機関等と連携し調整し在宅での生活を維持していけるよう支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 戸塚区以外の依頼の場合交通費実費

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご本人のできていることや強みをいかしたプランの作成をします。できている部分に着目し、自立支援に向け目標達成のためのプロセスを示し、ご本人、家族、サービス担当者に対し、方向性と目標を明確にしたプランの作成に努めます。ケアプランを自立支援に向けたものにするためには、ご本人の状況やどのようなサービスが必要であるかをきちんと把握し、それに合ったサービスを適切に組み合わせ提供できるよう調整していきます。また本人の生活歴や、環境、地域資源などにも着目しニーズを引き出せるように努めます。

介護予防支援・第1号介護予防支援のプランの作成も行います。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
27	29	28	26	28	28
10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	31	37	34	33	35

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎 ●入浴 ●昼食 ●生活リハビリ体操 ●レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分(入浴加算・体制強化加算（Ⅰ）イ・介護処遇改善加算含む
 - (要介護1) 713円
 - (要介護2) 829円
 - (要介護3) 945円
 - (要介護4) 1061円
 - (要介護5) 1177円
- 食費負担 750円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10 : 00 ~ 16 : 05 (半角で入力 例 9 : 00~15 : 00)

《職員体制》管理者 1名
 生活相談員 2名
 看護師・機能訓練指導員 3名
 介護職 2名(生活相談員兼務常勤) 10名(非常勤)
 事務 1名

《目標に対する成果等》

- ・いつまでもすみなれた地域で暮らし続けられるように現在できている生活動作が維持を考え生活リハビリ体操やお口の体操などを実施し支援しました。
- ・社会生活が維持できるよう、お仲間とのやり取りやレクリエーション活動の工夫をしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ガーデンを活用し花や野菜などを育てるなど植物を使った活動を実施します。
- ・生活機能を維持するようにリハビリ体操等を実施していきます。
- ・春にはお花見弁当夏は流しそうめんそしてクリスマスバイキング等季節感のある行事食を提供していきます。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
468	484	474	464	445	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
189	205	327	299	314	324

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 送迎●生活リハビリ体操
- 入浴●昼食
- 生活機能向上グループ活動

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分(体制強化加算（I）イ・介護処遇改善加算含む）
 - （事業対象者） 2,028 円
 - （要支援1） 2,028 円（週1回程度）
 - （要支援2） 2,028 円（週1回程度）
 - （要支援2） 4,037 円（週2回程度）
- 食費負担 750 円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10：00 ～ 16：05

《職員体制》管理者 1名
 生活相談員 2名
 看護師・機能訓練指導員 3名
 介護職 2名（生活相談員兼務常勤）10名（非常勤）
 事務 1名

《目標に対する成果等》

- ・その方らしい生活が出来るよう、意欲を引き出し、日常生活の張りになるよう支援のため、各自が選んでレクリエーション等を行うなどの取り組みを行いました。
- ・家事活動や生活機能が活性化するよう、活動や参加を促し心身機能が維持継続するよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ガーデンを活用し花や野菜などを育てるなど植物を使った活動を実施します。
- ・生活リハビリ体操の実施により、筋力低下等を予防し日常生活の継続・維持につなげます。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
85	103	90	96	102	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
95	97	91	92	93	99

平成30年度「横浜市上倉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,532,172	2,612,066	23,144,238	21,528,197	1,616,041	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	62,100		62,100		62,100	
自主事業収入			0	67,700	△ 67,700	この列は入力しない
雑入	180,000		180,000	193,211	△ 13,211	
印刷代	180,000		180,000	192,241	△ 12,241	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	970	△ 970	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	△ 2,380,000	0	△ 2,380,000	0	△ 2,380,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	△ 600,000	0	△ 600,000	0	△ 600,000	
収入合計	17,794,272	2,612,066	20,406,338	21,789,108	△ 1,382,770	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,650,000	0	9,650,000	9,175,796	474,204	
本俸	8,030,000	0	8,030,000	7,701,513	328,487	
社会保険料	381,000	0	381,000	517,538	△ 136,538	
手当計	887,000	0	887,000	753,818	133,182	
健康診断費	20,000	0	20,000	8,179	11,821	
勤労者福祉共済掛金	50,000	0	50,000	51,250	△ 1,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	232,000	0	232,000	143,498	88,502	
その他	50,000	0	50,000	0	50,000	
事務費	3,036,500	0	3,036,500	2,736,668	299,832	
旅費	28,000	0	28,000	14,840	13,160	
消耗品費	297,000	0	297,000	206,430	90,570	
会議随費	11,000	0	11,000	9,273	1,727	
印刷製本費	189,000	0	189,000	248,784	△ 59,784	
通信費	221,000	0	221,000	357,418	△ 136,418	
使用料及び賃借料	1,780,000	0	1,780,000	85,162	1,694,838	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	1,780,000	0	1,780,000	85,162	1,694,838	
備品購入費	165,000	0	165,000	484,435	△ 319,435	
図書購入費	16,000	0	16,000	0	16,000	
施設賠償責任保険	44,000	0	44,000	60,562	△ 16,562	
職員等研修費	50,000	0	50,000	11,328	38,672	
振込手数料	8,000	0	8,000	11,834	△ 3,834	
リース料	0	0	0	38,562	△ 38,562	
手数料	0	0	0	5,860	△ 5,860	
地域協力費	6,000	0	6,000	85,054	△ 79,054	
その他	221,500	0	221,500	1,117,126	△ 895,626	
事業費	361,500	0	361,500	143,681	217,819	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	42,286	△ 286	予算：指定額
指定管理料充当 事業	319,500	0	319,500	101,395	218,105	
管理費	6,157,200	2,612,066	8,769,266	5,912,834	2,856,432	
建築物・建築設備点検	23,760	0	23,760	174,906	△ 151,146	予算：指定額
光熱水費	3,378,000	0	3,378,000	3,418,616	△ 40,616	
電気料金	979,620	0	979,620	991,398	△ 11,778	
ガス料金	1,114,740	0	1,114,740	1,128,143	△ 13,403	
水道料金	1,283,640	0	1,283,640	1,299,075	△ 15,435	
清掃費	906,000	0	906,000	824,634	81,366	
修繕費	474,000	2,612,066	3,086,066	3,086,066	0	予算：指定額
機械整備費	103,000	0	103,000	103,204	△ 204	
設備保全費	319,000	0	319,000	447,987	△ 128,987	
空調衛生設備保守	74,000	0	74,000	173,251	△ 99,251	
消防設備保守	54,000	0	54,000	53,992	8	
電気設備保守	72,000	0	72,000	48,736	23,264	
害虫駆除清掃保守	24,000	0	24,000	23,890	110	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	95,000	0	95,000	148,118	△ 53,118	
共益費	105,600	0	105,600	81,312	24,288	
その他	847,840	0	847,840	219,359	628,481	
公租公課	855,120	0	855,120	734,063	121,057	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	855,120	0	855,120	734,063	121,057	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
リース対応費					0	この列は入力しない
支出合計	20,060,320	2,612,066	22,672,386	18,703,042	3,969,344	
差引	△ 2,266,048	0	△ 2,266,048	3,086,066	△ 5,352,114	

自主事業費収入			0	0	0	
自主事業費支出			0	0	0	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市上倉田地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,738,658	0	23,738,658	24,629,883	△ 891,225	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000	0	151,000	156,198	△ 5,198	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	292,093	5,496,907	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	4,000	△ 4,000	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当分)			0	4,000	△ 4,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	0	0	0	0	0	
収入合計	29,678,658	0	29,678,658	25,082,174	4,596,484	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,215,000	0	24,215,000	19,848,239	4,366,761	
本俸	14,641,000		14,641,000	12,509,039	2,131,961	
社会保険料	2,810,000		2,810,000	2,461,959	348,041	
手当計	5,791,000		5,791,000	3,880,982	1,910,018	
健康診断費	20,000		20,000	40,756	△ 20,756	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	25,350	4,650	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	882,000		882,000	930,153	△ 48,153	
その他	41,000		41,000	0	41,000	
事務費	1,722,100	0	1,722,100	2,606,894	△ 884,794	
旅費	28,000		28,000	21,639	6,361	
消耗品費	297,000		297,000	186,465	110,535	
会議随費	30,000		30,000	25,585	4,415	
印刷製本費	189,000		189,000	115,496	73,504	
通信費	195,000		195,000	369,900	△ 174,900	
使用料及び賃借料	0	0	0	22,638	△ 22,638	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	22,638	△ 22,638	
備品購入費	0		0	334,344	△ 334,344	
図書購入費	16,000		16,000	23,851	△ 7,851	
施設賠償責任保険	44,000		44,000	70,734	△ 26,734	
職員等研修費	50,000		50,000	45,256	4,744	
振込手数料	8,000		8,000	12,130	△ 4,130	
リース料	366,000		366,000	42,384	323,616	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	6,000		6,000	41,054	△ 35,054	
その他	493,100	0	493,100	1,295,418	△ 802,318	
事業費	1,590,900	0	1,590,900	1,097,491	493,409	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	500,900		500,900	145,200	355,700	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	156,198	△ 5,198	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	292,093	16,907	予算:指定額
管理費	1,885,940	0	1,885,940	1,403,550	482,390	
建築物・建築設備点検	11,340		11,340	46,494	△ 35,154	予算:指定額
光熱水費	900,000	0	900,000	908,745	△ 8,745	
電気料金	261,000		261,000	263,536	△ 2,536	
ガス料金	297,000		297,000	299,885	△ 2,885	
水道料金	342,000		342,000	345,324	△ 3,324	
清掃費	247,000		247,000	219,203	27,797	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	28,000		28,000	27,433	567	
設備保全費	573,600	0	573,600	0	573,600	
空調衛生設備保守	20,000		20,000	46,052	△ 26,052	
消防設備保守	15,000		15,000	14,351	649	
電気設備保守	19,000		19,000	12,954	6,046	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,350	650	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	512,600		512,600	39,371	473,229	
共益費	0		0	46,494	△ 46,494	
その他	0		0	58,309	△ 58,309	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,413,940	0	29,413,940	24,956,174	4,457,766	
差引	264,718	0	264,718	126,000	138,718	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払分)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市上倉田地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3437	4619	-1182	8128		8128	5154		5154	6072		6072
	その他	5148	5441	-293	591	8	583	4885	0	4885	926	0	926
	介護予防ケアマネジメント費	5148	5441	-293	297	8	289	0		0	0		0
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	247		247	4885		4885	926		926
		0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	47		47	0		0	0		0
	その他	0		0	0		0	0		0	0		0
	収入合計(A)	8585	10060	-1475	8719	8	8711	10039	0	10039	6998	0	6998
	支出	人件費	1300	462	838	7393		7393	41751		41751	0	
事務費		10	10	0	524		524	9070		9070	0		0
事業費		10	10	0	129		129	3475		3475	0		0
管理費		0	0	0	214		214	7103		7103	0		0
その他		5393	6202	-809	0	0	0	599	0	599	0	0	0
利用者負担軽減額		0		0	0		0	0		0	0		0
消費税		0		0	0		0	599		599	0		0
介護予防プラン委託料		5393	6202	-809	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0
その他		0		0	0		0	0		0	0		0
支出合計(B)	6713	6684	29	8260	0	8260	61998	0	61998	0	0	0	
収支 (A)-(B)	1872	3376	-1504	459	8	451	-51959	0	-51959	6998	0	6998	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
はじめのいっぽ	①0歳児(3カ月～6か月)	26868	地活	5268	21600		15000		11868
	②20名		包括						
	③600円		介護						
			生活						
おやこでリズム♪うたっ てあそぼ！！	①1～2歳児、2～3歳児	26887	地活	1087	25800		18000	887	8000
	②各コース10名		包括						
	③1回300円		介護						
			生活						
おもちゃの広場	①0歳児～未就学児	5000	地活	5000	0		5000		
	②20組		包括						
	③0円		介護						
			生活						
園活講座	①未就園児を持つ保護	3000	地活	3000	0		0	0	3000
	②定員無し		包括						
	③0円		介護						
			生活						
ベビーマッサージ	①0歳児(3カ月～6か月)	39640	地活	19340	20300		36000		3640
	②20名		包括						
	③700円		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
はじめのいっぽ	初めて子育てをする親同士の仲間づくりを目的とする。情報交換を通して、子育てに対する不安などの解消を図る。地域で子育てをしている保護者と乳児を対象に、子育てをする保護者にとって、有益と考えられる情報を知ってもらえるよう働きかける。ニーズの高い疑問に関しては、専門職を講師として招き、講座を設ける。	9月を除く毎月1回 年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこでリズム ♪うたってあそぼ！！	ニーズの高いリトミックを開催することで、新たな母親の交流の場の提供と、リトミックを用いた親子間のコミュニケーションを学ぶことを目的としている。	5～7月期(全3回) 1～3月期(全3回) 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの広場	おもちゃでの遊びを通して、保護者が子供を見守る方法を学ぶことを目的とする。地域で子育てをしている保護者と乳幼児を対象に、おもちゃコンサルタントを講師として招き、おもちゃの遊び方のレクチャーを行う。使用するおもちゃはグッドトイに認定されたものである。	6月実施 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園活講座	地域で子育て中の保護者に、子供の成育についての講座や地域の先輩ママの幼稚園情報の提供をすることで、育児の悩みを解消を目的とする。子どもの発達についてと地元の幼稚園情報の提供を行う講座。	9月実施 年1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ベビーマッサージ	初めて子育てをする親たちに、子供たちへの関わりの一つとしてベビーマッサージを学ぶ。低月齢乳児と保護者の外出の機会と仲間作りの機会を提供を目的とする。 講師からコミュニケーションの一つとしてのベビーマッサージを学ぶ。	5・6・7・12・1・2月実施 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
上倉田シネマ館	①地域住民	101250	地活	101250	0	0	0	0	101250
	②30人程度		包括						
	③なし		介護						
			生活						
介護者のつどい	①介護者、介護経験者	6304	地活	6304	0	0	0	6304	0
	②10名程度		包括						
	③なし		介護						
			生活						
居宅介護支援者連絡会	①介護支援専門員、民	11768	地活	11768	0	0	0	11768	0
	②30名程度		包括						
	③なし		介護						
			生活						
ケアマネサロン	①介護支援専門員	3618	地活	3618	0	0	0	3618	0
	②10名程度		包括						
	③なし		介護						
			生活						
ケアマネサロン	①介護支援専門員	3618	地活	3618	0	0	0	3618	0
	②10名程度		包括						
	③なし		介護						
			生活						
認知症ミニ講座	①地域住民	3341	地活	3341	0	0	3000	341	0
	②30名程度		包括						
	③なし		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上倉田シネマ館	目的：担当圏域に住む高齢者の①外出先としての場②介護予防、認知症予防の啓発の場③地域の情報提供の場④高齢者被害防止の場⑤相談の場としての情報提供等様々な情報発信を行う 内容：映画の上映とミニ講座	2018年4月～2019年3月 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護が社会的な問題（介護離職、介護殺人）になるなか、地域の中で介護者が孤立することを防ぐ取り組みを継続的に行う 内容：茶話会、お茶を飲みながら介護者や介護経験者が話をする。当事者が来た場合には、介護者の方がゆっくり過ごせるよう別のお部屋で過ごすことができる	2018年4月～3月 年11回実施（9月休館のため休み）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅介護支援者連絡会	目的：2025年問題など高齢者を取り巻く背景を見据えて、地域での連携の重要性を共有し共同できる体制をめざす。地域での連携、ささえあいの必要性を学び、高齢者を地域でささえている民生委員の方々とケアマネジャーの顔の見える関係づくりを行う 内容：①地域包括ケアシステムについて学ぶ②民生委員、介護支援専門員との情報共有及び交流会	2019年2月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的：ケアマネジャーのプラン作成の際、介護保険サービスのみならずインフォーマルサービスの位置づけの必要性求められている。机上にて情報を受けるだけでなく実際にケアマネジャーが参加する機会を設けて体験することにより、プランに取り入れやすくなる等の効果を期待するため。 内容：インフォーマルサービスの見学と実際に参加して体験する	2018年6月～7月 年3回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症ミニ講座	目的：認知症高齢者の方が増加する中で今後も認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進が必要。 ・近隣施設との連携 内容：GHマナーハウス南横浜水野氏による講演	2019年2月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
①GOGO健康講座口コ モ予防大作戦 (6/6.20.7/4)	①おおむね65歳以上	41133	地活						
	②15名		包括						
	③無料		介護	41133	0	0	14296	0	26837
			生活						
②GOGO健康講座大人 の食育・大作戦 (7/1125)	①おおむね65歳以上	43206	地活						
	②20名		包括						
	③無料		介護	43206	0	0	35638	0	7568
			生活						
③GOGO健康講座楽し く介護予防・認知症予防 (10/3.17.31)	①おおむね50歳以上	11581	地活						
	②30名		包括						
	③無料		介護	11581	0	0	0	0	11581
			生活						
④GOGO健康講座楽し く介護予防・認知症予防 笑って話して動いて考え て(11/14)	①おおむね50歳以上	5711	地活						
	②15名		包括						
	③無料		介護	5711	0	0	0	0	5711
			生活						
⑤みんなで楽しく・吉田 元町会館で学ぶGOGO 健康講座(10/23.11/13・ 27・12/11)	①おおむね65歳以上	48556	地活						
	②15名		包括						
	③無料		介護	48556	0	0	37318	0	11238
			生活						
⑥GOGO健康講座スト レッチ腰痛・膝痛・肩こり 解消(3/15)	①おおむね50歳以上	6011	地活						
	②15名		包括						
	③無料		介護	6011	0	0	3500	0	2511
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで楽しく・吉田元町会館で学ぶGOGO健康講座	目的：地域に出向いた介護予防講座 内容：ロコモ予防講座（体力測定、ロコモ予防体操）、認知症予防講座（スリーA）、口腔機能向上講座、低栄養講座	10月～12月で 4回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康講座ストレッチ腰痛・膝痛・肩こり解消	目的：地域に出向いた介護予防講座 内容：ロコモ予防講座	2019年3月 1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
GOGO健康講座 ロコモ予防大作戦	目的：介護予防（ロコモ予防）講座、認知症予防講座 内容：ロコモ予防講座（体力測定）・ロコモ予防講座（ハマトレ）・認知症予防講座（コグニサイズ）	6月～7月 3回 実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康講座 大人の食育・大作戦	目的：低栄養改善 内容：低栄養改善講座（食事バランス）・（塩分制限）	7月 2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康講座 楽しく介護予防・認知症予防	目的：介護予防講座と共に、介護予防地域ボランティアの発掘も目指す 内容：認知症予防講座講演会・スリーA・コグニサイズ介護予防	10月 3回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康講座 楽しく介護予防・認知症予防 笑って話して動いて考えて	目的：介護予防講座と共に、介護予防地域ボランティアの発掘も目指す 内容：認知症予防講座講演会、ロコモ予防講座（コグニサイズ、ウォーキング）コンフォール9号棟前公園で実施	11月 1回実施

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
認知症予防講座	①男性	49819	地活	49849	0	0	32000	17849
	②12人		包括					
	③500円		介護					
			生活					
男の料理教室	①男性	9999	地活	3999	6000	0	9999	0
	②12人		包括					
	③500円		介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市上倉田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症予防講座	目的：地域支援者から人材の推薦をえて講座に参加することで認知症予防、介護予防活動を周知し、支援者育成のきっかけづくりとする。 内容：認知症予防の講座を聞く、実際に体を動かしてみる	2018年10月・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理教室	目的：介護予防事業の低栄養講座後のアンケートから、参加者の半数近くが『男性だけ』『女性だけ』の講座や教室を希望する結果が出た。講座を開催しても参加者が少ない『男性』を対象に、地域でも開催され関心の高さが感じられる料理教室体験会を開催し、参加者からどのような活動を希望されるか聞き取り調査する。 内容：栄養バランスについての講話 冷凍食品、缶詰を使った簡単バランス食の調理実習	2019年3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数